



あ
る
み
さ
っ

て
れ
ん
が
ね
す
れ
ー
と

か
こ
う
が
ん
す
れ
ー
と

日本の玄関口とも言われる東京駅は、赤レンガの美しい歴史的建造物としても有名です。そして東京駅では、昔の姿を現在に残すために様々な素材・技法が用いられています。

東京駅丸の内口側に行き、六つの東京駅構造説明板の【1】内のひらがなを使ってクロスワードを埋めたら、数字が書かれているマスから答えを導き出しましょう！



一つ目の謎

春の扉に消えた謎

ちよだ
よりみちさんぽ 2025

千代田
タイムトラベラーズ・ツアー

謎解き編

あなたの友人
ちよまる

詳しく知りたい人は5ページ後へ！

千代田区の謎を解き、
魅力発見！

桜舞う春の日、歴史への旅へ

暖かな春の日。満開の桜が広がる中、歴史好きの友人・ちよまると散歩を楽しんでいました。桜を眺めていると、ふと隣を見て驚きました。いるはずのちよまるの姿がないのです。周囲を探すと、ちよまるが謎の扉の中に入っていくのが見えました。そして扉は、ちよまると共に消えてしまいました。一体ちよまるはどこへ行ったのか？あの扉は何だったのか？

途方に暮れていると、足元に一枚の紙飛行機が舞い降りてきました。拾い上げて広げてみると、そこにはこう書かれていました。

「ちよまるは『時空の穴』へと繋がる扉に引き寄せられてしまったのじゃ。この扉は歴史を深く思い巡らせる者の前に現れる。今、ちよまるは昔の千代田区を旅しておる。

もしそなたが、千代田区の歴史にまつわる謎を解き明かせば、その扉が再び現れ、ちよまると再会できるであろう。

大切なのは、この謎解きの旅を楽しみながら、昔の千代田区に思いを馳せること。それこそが、『時空の穴』を引き寄せる鍵なのじゃ」

歴史の謎を解く旅の始まり

あなたは、最初の謎を解き終え、ひとまず安堵しながら東京駅の歴史を感じ取ります。その時代を超えたつながりを想像すると、心が温かくなりました。

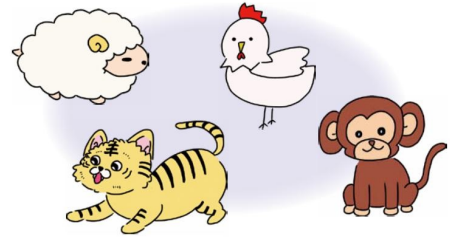
「もしかすると、この感覚をちよまるも感じていたのかもしれない」

そう思いを馳せながら、次の謎へと向かいます。

大ヒント

一つ目の謎はクロスワードなのでマスの数字をみてください…

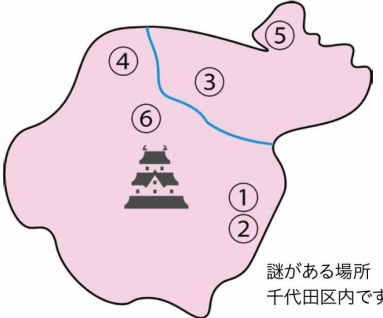
答：かみふうせん ひらがな文字数：6



答：とら ひらがな文字数：2

東京駅丸の内駅舎には南側と北側それぞれにドームがあります。駅に入ってから見上げると、八角形になっているドームの上部周辺に、丸で囲まれた千支の彫刻が8つあることがわかります。このうち、「辰」ともう1つの生き物が改札を挟む位置にあります。そのもう1つの生き物を、下のイラストから選びましょう！（南ドーム、北ドーム、どちらでも答えは同じ）

二つ目の謎



謎がある場所
千代田区内です。

問題全部で6問です。ストーリーを読みながら、千代田区内の各所に実際に足を運んで謎を解き、答えを見つけましょう。各問題の答えの「ひらがなでの文字数」が「最終試験」のカギとなります。ヒントや解き方もあるので参考してみてください。

すべての謎を解いて、ちよまると再会しましょう！

解き方



答: **かめ**

ひらがな文字数: **2**

神田明神の神馬 あかりちゃん

あかりちゃんは、神田祭の日である五月十五日に生まれました。

先代の宮司（大鳥居名誉宮司）はあかりちゃんにご縁を感じ、神馬としてお迎えしたそうです。

★あかりちゃんを見つけたら静かに見守ってね。



本殿左側 馬舎

五つ目の謎

江戸総鎮守「神田明神」は、ご創建1300年の歴史がある。昭和50年に昭和天皇御即位50年記念として再建された「随神門」には、各所に伝統的、かつオリジナルな文様が配されています。

ここで問題です。随神門を映した左の写真の「？」の箇所には2種類の生き物がいます。片方は「蛇」です。もう片方は何でしょう？

ヒント

神田明神の北側をまもっているんだって！二種類の動物たちはいつも言い争っているよ。



次に訪れたのは、千年の歴史を誇る神田明神。

境内で出題された謎を解き、大きな鳥居をくぐると、そこには神馬の「あかりちゃん」がいました。その愛らしさに癒されながらも、ちよまるのいる「時空の穴」に確実に近づいています。

そして最後の謎解きへ挑みます。



三つ目の謎

一世紀以上の歴史を持ち、江戸時代のあらゆるジャンルの書籍を扱う大屋書房。夜間に光る看板に葛飾北斎の『富嶽三十六景』の『凱旋快晴』が描かれています。

では、この左の写真にある看板の裏に描かれている作品は何でしょう？

ヒント

山下白雨、甲州石班沢、駿河江尻、神奈川沖波裏のいずれかです！実際に見に行ってみよう！

答: **かながわおきなみうら** ひらがな文字数: **10**

(神奈川沖浪裏)

緑結びで有名な東京大神宮は、都会にありながらたくさんの花や緑に囲まれています。なかでも、境内には参拝後に心を落ち着けられるスペースとして、石でできたテーブルなどが置かれた場所があります。

その場所にある「ト」からは何でしょう？

答: **とうねずみもち** ひらがな文字数: **7**



ヒント

木に付けられている、右のイラストのような札を探して正解を見つけましょう！

豊かな緑・豊かな心

東京大神宮

縁結びの神宮と歴史の書房を巡って

あなたは、書籍を通して歴史を今に伝える書房や、縁結びで知られる神宮を訪れ、謎解きに慣れてきたことでしょう。

時空の旅が楽しくなり、昔の千代田区への思いが深まってきましたか？

六つ目の謎

東京都千代田区にある「北の丸公園」は古くから残る歴史や豊かな自然に囲まれ、日本武道館や科学技術館など数多くの施設があります。
ここで問題です。公園にはいくつか門がありますが、そのうち千代田区役所から一番近い門の名前は何でしょう？

ヒント

寛永元年（一六二四）広島藩初代藩主浅野長晟によって建てられました。文久三年の本丸炎上の時には、将軍が一時的に移ったといわれています。

解き方

北の丸公園内に案内図があるので実際に見て解いてみてください！

答：しみずもん(清水門) ひらがな文字数：5

江戸城北の丸の石垣やお堀を見つつ、豊かな自然をいっばいに感じることできる公園でゆっくりできました。
さあ、これで全ての謎は解きました。近くから、ちよまるが入っていったあの扉の音がします。ちよまるに会える……！しかしその期待に反して、その扉は開きませんでした。
不思議に思い、よく見ると、扉には「最終試練」と書かれていました。ちよまると無事に再開する。そう覚悟を決め、不安が残つつも今までの答えをヒントに、最後の謎に立ち向かうことにしました。
これは、お主が本当に昔のことを思っているかを試すための最終試練だ。

最終試練のカギ

ソ	ミ	ツ	ロ	シ
サ	ク	ラ	ヨ	ク
ア	イ	エ	ド	ナ
ニ	ト	ウ	マ	メ
ノ	ガ	ン	ギ	コ

感動の再会と千代田区への想い

ついに扉が開き、中から「会いたかったよー！」とちよまるが飛び出てきました。ちよまるは「時空の穴」でさまざまな時代の千代田区を巡り、一番好きな場所に辿り着いたのです。その場所こそが、昔の千代田区の雰囲気をも感じられる特別な場所でした。
「もう現代には戻れないかも」という不安を抱えながらも、ちよまるはそこで見た風景や感じたことを熱心に語ってくれました。
それを聞きながら、昔の千代田区の歴史に思いを深める旅を終えるのです。

最終試練

1つ目の謎から6つ目の謎を解きながら導き出した「ひらがな文字数」と同じ数字が書いてあるマスを「最終試練のカギ」から見つけよう。そして、その文字を組み合わせると……最後の答えが出るよ。その答えで応募してね。

最終試練の答：そめいよしの

千代田区を冒険する猫「ちよまる」

ある日、古書店街の路地裏に、一匹の不思議な猫が現れました。その猫は「ちよまる」。人間の言葉を話すことができました。
趣味は、古書店巡りや街歩き。新しいものの好きで、古くて味わいのあるものが好きで、古い建物や街並みを眺めるのが大好き。好物は、桜の香りのするお団子。春になると、桜の名所を巡ってはお花見を楽しみます。



千代田区の尽きない魅力を詰め込みました。

謎解きを通して「新たな発見」が待っているはずです。ぜひ読んでください！



北の丸公園のおススメスポット

田安門……………九段下駅二番出口より徒歩5分
北の丸公園……………九段下駅六番出口より徒歩5分



気分は江戸時代!! 田安門

寛永一三年（一六三六）福井藩藩主の松平忠功によって建てられました。田安門から南北を貫くように西一帯を田安家、東側一帯を清水家が所有していました。



自然豊かな北の丸公園

北の丸公園は約二〇万平方キロメートルと広大な敷地を持ち、春は桜・秋には紅葉など四季折々違った風景を楽しむことができます。